

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 30 年度第 1 回佐渡市公の施設指定管理者評価委員会
開催日時	平成 30 年 11 月 20 日 (火) 13:30~16:40
場所	佐渡市役所会議室棟 第 2 会議室
議題 (会議内容)	<p>1 開会</p> <p>2 評価及び採点方式など全体説明</p> <p>3 議題 (評価)</p> <p>(1) 心身障がい者福祉センター</p> <p>(2) 精神障がい者福祉センター</p> <p>(3) 交流センター白雲台</p> <p>(4) 佐和田森林公園オートパークさわた</p> <p>(5) 赤泊自然休養村管理センター</p> <p>(6) ドンデン山荘</p> <p>4 結果報告</p> <p>5 閉会</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>《佐渡市公の施設指定管理者評価委員》 (5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 佐々木 宏史 委員 ・委員 嶋田浩彰 委員、及川智子 委員、中村美登里 委員、本間救 委員 <p>《指定管理施設運営者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身障がい者福祉センター (福)しあわせ福祉会 ・精神障がい者福祉センター (福)とき福祉会 ・交流センター白雲台 (有)浦島 ・佐和田森林公園オートパークさわた 大佐渡トレッキングガイド倶楽部 ・赤泊自然休養村管理センター 赤泊農林漁業観光 ・ドンデン山荘 渡辺産商 (株) <p>《事務局》</p> <p>総務部 防災管財課</p> <p>課長 甲斐由紀夫、管財係長 金子揚則、主任 長嶋麻紀、長尾啓介</p> <p>市民福祉部 社会福祉課</p> <p>課長補佐 計良好昭、障がい福祉係長 兵庫研司</p> <p>産業観光部 観光振興課</p> <p>観光施設係長 池雅彦、主任 鍵谷卓、佐藤由加里</p>
傍聴人の数	0人

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	事務局から評価採点方法等の説明の後、社会福祉課関連施設の説明、委員からの質疑、採点、回収、その後観光振興課関連施設の説明、委員からの質疑、採点、回収を行った。
	佐々木委員長進行
	(心身障がい者福祉センター)
	兵庫係長から施設概要、補足説明。
嶋田委員	指定管理者が行っている就労継続支援B型事業とはどんな内容か。
兵庫係長	就労継続支援B型事業所は原則として障がい者手帳を所持している者が利用するサービスであり、通所施設である。障がい者が自宅やグループホームからその施設へ通い、作業するなどして一日を過ごし、帰るといった内容である。
佐々木委員長	施設の苦情対応について具体的な対応マニュアルは策定されているか。
しあわせ福祉会	書面での整備は今のところされていない。施設長が相談窓口となり、理事長が解決責任者として指定されている。随時相談を受け、対処している。
佐々木委員長	苦情対応等の記録の記載はあるか。
しあわせ福祉会	昨年度苦情等はなかったため記録はない。 月1回の保護者会で利用者の不満等を聞き入れながら対処している。
中村委員	保護者会の参加者は利用者も含むのか。
しあわせ福祉会	利用者の親などの保護者が参加している。
及川委員	防災訓練は実施していないのか。マニュアルも整備されていないのか。
しあわせ福祉会	防災訓練は未実施である。マニュアルの整備もされていない。 今後マニュアルを整備し、防災訓練も実施していきたい。
佐々木委員長	人件費以外の経費節減についての具体的内容は。

しあわせ福祉会	電話料金のプランを見直した。業務の委託についてもこれまでの流れではなく、見積書を徴して比較検討して業務委託するなど可能なところで経費節減をした。
佐々木委員長	人件費節減は福祉施設では適切ではないので、その他の経費節減で問題ないと思う施設利用者数が定員を超えているので、公の施設として利用したい人が利用できるように定員を増やす相談を行政としているか。
しあわせ福祉会	定員を増やす検討をしている。
嶋田委員	利用料金の徴収はしていないのか。
兵庫係長	障害福祉サービスについて、利用者負担を算定するにあたり 18 歳以上の方についてはその本人と配偶者を世帯とみなす。その世帯の所得等で利用者負担を決めるが、住民税非課税世帯であれば利用者負担は 0 円である。現在、当施設に通っている方はみな利用者負担が 0 円であるため、利用料金を徴していない。
佐々木委員長	個人情報保護に関する規程はあるか。
しあわせ福祉会	就業規則の中で個人情報取扱いに関して規定されている。 職員採用時に個人情報取扱いに関する誓約書を書いてもらっている。
佐々木委員長	研修等の実施記録はあるか。
しあわせ福祉会	研修会に出席すると研修報告書を提出することになっている。
	【 審 査 】
	(精神障がい者福祉センター)
	兵庫係長から施設概要、補足説明。
佐々木委員長	意見交換等の文書による記載保管がされているか。利用者のニーズ等が記載され、後から見られるようになっているか。
とき福祉会	記録を残している。
佐々木委員長	施設利用者数が定員を超えているので、公の施設として利用したい人が利用できるように定員を増やす相談を行政としているか。

とき福祉会	<p>現在、施設の定員は15名で登録者は20名いる。しかし、実情はずっと利用している方もいれば、休む方もいるので定員を超えることはない。</p>
佐々木委員長	<p>人件費節減は福祉施設では適切ではないので、その他の経費節減で問題ないと思う。むしろ定員以上の利用となっているため利用されたい方に平等にサービスが行き渡るよう行政と協力してほしい。</p>
嶋田委員	<p>職員の配置状況で平成28年度、29年度とも非常勤事務員を1名配置する計画となっているが、実際には非常勤事務員を配置することなく、他の指導員を増やしている。事務員の配置は困難か。</p>
とき福祉会	<p>事務に関しては施設長とサービス管理責任者でできる範囲を行っている。支援員はどうしても人数が必要である。</p>
佐々木委員長	<p>コスト削減の取組状況として平成28年度、29年度とも全く同じ記載がされている。事務消耗品、水道光熱費の節約を毎年目標とされているが、どんどん削減していくのか。それともできなかつたから翌年も記載しているのか。</p>
とき福祉会	<p>毎年コストが現状よりも上がらないよう努力をしている。</p> <p>【審査】</p> <p>引き続き、観光施設の評価</p>

	<p>(交流センター白雲台)</p> <p>池係長から施設概要、補足説明。</p>
佐々木委員長	指定管理者より何かPRポイントなどあれば聞きたい。
有限会社 浦島	<p>平成21年より交流センター白雲台を引き受けている。場所柄、天候に左右される施設である。天候について利用者への周知、安全、PR等が常にできるよう職員に指導している。天候によっては霧で視界が10mもないことがある。施設が見えないので、施設の目印として、独自に黄色く光るマグネシウム灯を設置し、見つけやすくしている。昨今のトレッキングブームで利用者は増加傾向にある。したがって、当然山の事故等も増えている。その際、夜間でも施設を開いて待機場所として使用できるよう県や市に協力をしている。また3年ほど前からトレッキングで遭難があった際、県警の防災ヘリや、ドクターヘリコプターのランデブーポイントとしても施設前を使用させている。指定管理料は0円であるが、毎年、金北山の標高1,172mにちなみ、11万7,200円の寄付をしている。今年は写真家故天野尚さんが命名した、洞爺湖サミットでも使用された白雲台の上にある千竜桜の保全に活用してもらおう名目で寄付をした。地域交流の一環として、平泉保育園の園児が太鼓の練習を行っているということで3年前ぐらいから毎年、祭りで園児に太鼓を叩いてもらい、園児やその父兄、知り合いの方などから多く集まっていた。毎年8月、山の日に合わせて白雲台祭りを行っているが、今年から4畳分ぐらいの白布に木の幹を書いて、祭りや施設に来場された方から手にピンクの塗料をつけて白布に押し、手形を桜に見立てて千竜桜を作り、施設内に飾ったが大盛況であった。今後も手形を増やしていき、白雲台に掲示して、千竜桜を保全していることを認知してもらえよう行っていきたい。</p>
佐々木委員長	個人情報保護の取扱い規定及び緊急時の避難等について、マニュアル等作成しているか。
有限会社 浦島	作成している。
佐々木委員長	黒字化していて大変素晴らしい。10月頃、個人的に白雲台へ行ったがトイレ等もきれいであった。施設の維持管理について、修繕等の事業計画などがあるか。
有限会社 浦島	外壁の修繕が主である。元々極寒の地にあるため、施設の外壁に氷が飛んできて、シーズン開けは外壁がはがれてサンドペーパーをかけたような状態になる。3年目になってくると修繕の目安ができてくるので、状況に応じて市と協議しながら修繕していている。

佐々木委員長	水の確保はどうしているか。
有限会社 浦島	200～300m先の昔の妙見キャンプ場の地下水を汲み上げ、殺菌して使っている。 去年、売上げ及び来客数が落ちたことを受け、新たに浦島で開発した地産地消の加工食品や惣菜、地元の酒蔵5社の酒の販売免許を取り、売店に置いている。10年前から光ケーブルを引いており、Wi-Fi(ワイファイ)も通じるようにした。
佐々木委員長	看板がないため、施設を知らない方、わかりにくい方が多いのではないか。
有限会社 浦島	看板が立てにくい理由として、金井から上がると防衛省管轄の道路が施設の際までできている。施設の上側の道路は県の管轄によりそれぞれ許可が必要なため、市と検討している。
	【審 査】
	(佐和田森林公園オートパークさわた)
	池係長から施設概要、補足説明。
佐々木委員長	このような大きなキャンプ場であると、他の市町村では災害時の避難場所として指定し、災害時に利用したキャンプ場に対して補助を出すような規定があるところを聞くが、そういった利用は想定しているか。
池係長	サイト自体は平面で安全だが、サイトまでの道中、水道の水源に修繕が必要な箇所がある。人口の集中している市外地からかなり離れているので、直近の避難所としては難しいのではないかと考える。
佐々木委員長	指定管理者からのPR等あるか。
大佐渡トレッキングガイド倶楽部	ガイド倶楽部という山のガイドを10年やってきた縁で始めた。施設をきれいにして、気持ちよく利用していただくことを特に意識しており、誇れるところである。30サイトあるが、夏でもあまり混みすぎないようにゆったり利用できるよう配慮している。最近、1泊のみの利用者が減り、連泊の方が増えて、ベースキャンプのように使用している。長い方だと一週間利用する方もいる。天候に左右されるため、悪天候であるとキャンセルが出る。今後は、地元客をどう呼び込むかが課題である。 島外ばかりでなく、島内の利用者についても遠足や散歩などもっと気軽に施設に立ち寄っていただきたいと考えている。運営しているこちら側もやりがいを持ち、利用者か

	らの要望等を聞いて、試行錯誤しながら利用者が気持ちよく過ごせるようにしていきたいと考えている。
佐々木委員長	質問はあるか。
嶋田委員	アスレチックの部分は指定管理に含まれているのか。
大佐渡トレッキングガイド倶楽部	含まれているが、壊れているため現在使用できない。
嶋田委員	ぜひ直して使用できるようにしていただきたいが。
大佐渡トレッキングガイド倶楽部	かなり老朽化が進んでいるようであり、直すまでは考えていない。ほぼ2人で管理をしているため、もし直したとしても我々では管理ができない。
嶋田委員	自然を生かそうとしており、とても大切にしている気持ちが伝わってくる。30 サイトあるというが、稼働率はどのくらいか。
大佐渡トレッキングガイド倶楽部	4月～11月の営業期間中の利用可能サイトとして、8月以外は30 サイト中、13 サイトで運営を行い、目標利用サイト 290 の 80%を目標としている。
佐々木委員長	過去、休みの日に犬と共に利用させていただいた。ドックランの設置期間はどのくらいだったのか。
大佐渡トレッキングガイド倶楽部	1年間ほど試してみた。竹で杭を打ち、農業用のネットを張っていたため不都合が起こった。ネットが壊れたり、遊ばせたら犬が逃げたなどで責任が発生することと、あまり需要もないため現在は行っていない。
佐々木委員長	個人情報の取り扱いのマニュアルの進行状況はどうか。
池係長	作成に向けて準備している。
中村委員	連泊のだんだん割引とは。
大佐渡トレッキングガイド倶楽部	1 サイト 6,500 円、2 泊目 6,000、3 泊目 5,500 円で行っている。利用者には、佐渡を観光するには最低2泊はしないと全てみることはできないと伝えている。
中村委員	苦情などはあるか。

大佐渡トレッキングガイド倶楽部	目安箱を設置している。感謝のメッセージが多い。
	【審 査】
	(赤泊自然休養村管理センター)
	池係長から施設概要、補足説明。
佐々木委員長	指定管理者からの PR 等あるか。
有限会社 赤泊農林漁業観光	昭和 50 年 4 月に赤泊村時代、観光拠点ということで第 3 セクターとしてスタートした。順風満帆だったが、その後今から 15 年位前にサンライズ城が浜の開設以降、徐々に客足が減少。その後、寺泊ー赤泊間の航路問題なども重なり、観光客も減少していった。現在、地元住民の会食会場、葬祭業に利用活路を見いだしている。500 万円の資金でスタートした会社だが、業績が厳しく、役員、株主からの資金で 500 万円を追加し、役員、株主が会社を支えている。
佐々木委員長	アンケートの聞き取り後、ニーズの把握として結果をデータ化、書面化し改善に役立てる仕組みはあるか。
有限会社 赤泊農林漁業観光	書面化はしていない。聞き取った上で対応している。エレベーター設置の要望は必ず出るが、現状では対応は厳しい。
佐々木委員長	個人情報取り扱いの基準の書面化、社内規定はあるか。マニュアル等がすべてない事になっているが無しでよいのか。作成する予定もないのか。今後もこのままいくのか。
有限会社 赤泊農林漁業観光	書面では作成していない。
池係長	マニュアル作成は早急に整備が必要であり、参考資料として、ひな型を渡してあり、作成に向けて進んでいる。
佐々木委員長	平成 27～29 年と 3 年間続けて課題に上がってきている。すでに、作成されていなければいけない案件だと思われる。
有限会社 赤泊農林漁業観光	資料を確認し、早急に整備したい。

佐々木委員長	今後、ハード面の修復、修繕、建替え等で必要経費が必ず出てくると思われるが、いつまでも役員の持ち出しでやっていく訳にはいかないのでは。また、長期的な修繕計画などは立てているのか。
有限会社 赤泊農 林漁業観光	老朽化が進んでおり、雨漏り、外付けエレベーターなどの修繕をしたいと市に申し出ている。
佐々木委員長	市の方で、建替え等の予定は組まれているのか。建物の修繕は市が行うのか管理者に任せているのか。
池係長	市の方向性としては、産業施設について、新規の更新はしないという方針が出ているため建替え等については難しい。程度を見ながら修繕していきたい。
佐々木委員長	バリアフリーの観点からもエレベーターの設備がないというのは問題なのではないか。バリアフリーの規定は満たされているのか。
池係長	今のところエレベーター設置の計画はされていない。大規模な支援策等がないと予算的にも難しい。
佐々木委員長	近隣に同様の施設があると当施設の存続等について疑問が出てくる。規定を満たしているかどうかは重要になってくるのではないか。経営状態も黒字となっているだけに施設として長期修繕計画を立て、経営状態維持のバックアップを市で行うのが適切ではないか。障がい者等に対する配慮について何らかのアプローチは必要と考える。議論がされない事が問題だと考える。
池係長	今後の計画等検討が必要である。
及川委員	就業規則は整備されていて、職員に周知されているか。
有限会社 赤泊農 林漁業観光	行っている。
嶋田委員	適正な管理運営の関係だが、調理師が計画では2人だったが、平成29年では1人になった理由は何か。
有限会社 赤泊農 林漁業観光	40年来、1人の調理師で行ってきたところ、高齢ということで後継者として新規に1人採用したが、方向性の違いで退職してしまった。現在、ハローワークを介して募集をかけている。

	<p>【審 査】</p> <p>(ドンデン山荘)</p> <p>池係長から施設概要、補足説明。</p>
佐々木委員長	<p>満足度調査で、職員の対応満足度は 90%と高いが、施設利用の満足度は 70%と低い。具体的な理由があるか。</p>
渡辺産商株式会社	<p>施設の老朽化であると考えられる。トイレが外にないということも要因であると思う。看板について、ルートと花の看板が開設当初からあるもので見づらくなっている。改善する方向で考えている。</p>
佐々木委員長	<p>個人情報の取り扱いについて規定はあるか。</p>
渡辺産商株式会社	<p>規定がある。</p>
中村委員	<p>大学、短大の合宿誘致のチラシは県外にも出しているのか。</p>
渡辺産商株式会社	<p>県内に限らず県外にも出している。ホームページにも掲載している。</p>
佐々木委員長	<p>リピート件数が 30%と横ばいなのはなぜか、固定客がいるのか。</p>
渡辺産商株式会社	<p>主に中高年の方が固定客であり、あと少数として昆虫採集、アマチュア無線の方などが毎年利用している。</p>
	<p>【審 査】</p> <p>4 結果報告</p> <p>5 閉会</p>